

第7回  
大学情報・機関調査研究集会  
論文集

平成30年8月18日～19日  
東京都千代田区 大学共同利用機関法人 国立情報学研究所 (NII)

Proceedings of the Seventh Meeting on Japanese Institutional Research

18<sup>th</sup>, 19<sup>th</sup> August 2018

National Institute of Informatics (NII), Tokyo, Japan

8/18

11:00-11:20 MJIR オープニング

11:20-12:20 MJIR-1 学修行動 (60分, 3件×20分)

1. ALCS 学修行動調査を用いた主体的学習経験の役割の検討(1) —学習目標からの影響と教育への満足に及ぼす影響— ……………8  
宮崎 弦太 (東京女子大学), 高林 久美子 (東京女子大学), 工藤 恵理子 (東京女子大学), 小田 浩一 (東京女子大学)
2. ALCS 学修行動調査を用いた主体的学習経験の役割の検討(2) —学習目標と学習経験が専門知識・汎用能力の向上の知覚に及ぼす影響— ……………14  
高林 久美子 (東京女子大学), 宮崎 弦太 (東京女子大学), 工藤 恵理子 (東京女子大学), 小田 浩一 (東京女子大学)
3. 学修行動調査における回収率とその結果の関係—回収率 3割や 6割の調査結果は何を伝えるか ……………20  
東京一 (教学比較 IR コモンズ)

12:20-13:50 昼休み (90分)

13:50-14:30 MJIR-2 学生支援(1) (40分, 2件×20分)

4. 教員養成系大学における教員志望動機の回復と規定因 ……………26  
渡辺 匠 (北海道教育大学), 櫻井 良祐 (北海道教育大学)
5. やり抜く力は入学者選抜に応用可能か? —簡易版 Grit Grid を用いた客観的な Grit 測定を試み— ……………32  
櫻井 良祐 (北海道教育大学), 渡辺 匠 (北海道教育大学)

14:30-15:30 コーヒーブレイク

15:30-16:30 MJIR-3 解析開発 (60分, 3件×20分)

6. 中期計画を対象としたロジックモデルの各構成要素における特徴語分析 …… 38  
小柏 香穂理 (帝京大学), 高田 英一 (神戸大学), 大石 哲也 (東京工業大学),  
森 雅生 (東京工業大学), 廣川 佐千男 (九州大学)
7. インタビューテキストの事例分析によるライブラリアンに求められる能力調査 …… 42  
金川 久美子 (九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻),  
鄒 楽暎 (九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻), 戸崎  
祐輔 (九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻), 廣川 佐  
千男 (九州大学情報基盤研究開発センター)
8. 機械学習を用いた学力進捗予測の可能性 …… 48  
高松 邦彦 (神戸常盤大学), 村上 勝彦 (東京大学), 鷹尾 和敬 (神戸常盤大  
学), 村瀬 有紀 (神戸常盤大学), 深川 大 (神戸常盤大学), 旭 潤一郎 (神戸  
常盤大学), 伴仲 謙欣 (神戸常盤大学), 野田 育宏 (神戸常盤大学), 光成 研  
一郎 (神戸常盤大学、京都大学), 中村 忠司 (神戸常盤大学), 大森 雅人 (神  
戸常盤大学), 中田 康夫 (神戸常盤大学)

16:30-17:00 1日目クロージング・意見交換・移動

17:00-19:00 情報交換会

8/19

- 10:00-11:00                    MJIR-4 オープンサイエンス (60分, 3件×20分)
9. オープンサイエンスと IR ..... 54  
    船守 美穂 (国立情報学研究所)
10. 国内における研究データ管理支援体制の整備に向けた取り組み～人材育成と支援ツール開発の観点から～ ..... 60  
    常川 真央 (千葉大学)
11. 次世代の研究者識別 ORCID と戦略的活用に向けた研究者情報の整備について ..... 66  
    森 雅生 (東京工業大学)
- 11:00-11:30                    休憩・意見交換
- 11:30-12:10                    MJIR-5 調査研究 (40分, 2件×20分)
12. IR と内部監査 ..... 70  
    大石 哲也 (東京工業大学), 森 雅生 (東京工業大学)
13. アメリカ研究大学における大学院生の学術活動－全米研究協議会(NRC)の大学院生調査 2006年から－ ..... 76  
    相原 総一郎 (芝浦工業大学)
- 12:10-13:30                    昼休み (80分)
- 13:30-14:30                    MJIR-6 アンケート (60分, 3件×20分)
14. 学生アンケート回答率向上の取り組み事例報告 ..... 82  
    高瀬 雄一郎 (神田外語大学 IR 推進室), 玉造 美恵 (神田外語大学 IR 推進室),  
    石井 雅章 (神田外語大学 IR 推進室), 吉野 知義 (神田外語大学 IR 推進室),  
    相良 亜希 (神田外語大学 IR 推進室)
15. 全学アンケート調査の授業改善への活用 ..... 88  
    樋口 勝一 (追手門学院大学 基盤教育機構)
16. 間接評価を用いたディプロマ・ポリシー到達度の計測 ..... 94  
    田尻 慎太郎 (横浜商科大学)
- 14:30-15:00                    休憩・意見交換

15:00-15:40 MJIR-7 学生支援(2) (40分, 2件×20分)

17. 自己管理学習レディネスと目標設定に基づく科目選択支援システムの開発 ……100  
近藤 伸彦 (首都大学東京), 松田 岳士 (首都大学東京), 渡辺 雄貴 (東京理  
科大学), 重田 勝介 (北海道大学), 加藤 浩 (放送大学)
18. 中退防止における2つのIRアプローチ: 高大接続アプローチと教学アプローチ ·106  
白鳥 成彦 (嘉悦大学)

15:40-15:50 クロージング

15:50-19:00 アフタートーク

## はじめに

平成 24 年 7 月に九州大学で 1 回目の大学情報・機関調査研究集会 (MJIR: Meeting on Japanese Institutional Research) が開催されてから 6 年の年月を経て、今回で 7 回目の開催になりました。前回の第 6 回 MJIR から自律的に集会を運営するようになり、今回の集会も自発的に協力を申し出た運営幹事により準備を進めて参りました。IR の分野への関心は衰えるところを知らず、今回は 18 件の投稿数に加えて、過去最大の参加人数で開催するに至りました。

IR に関する成果や実績を報告したり共有したりする機会が増え、IR が世の中に浸透し認知されてくるにつれて、IR の重要性や必要性が増すだけでなく、大学という特殊な法人における IR のあり方を深く考え、四苦八苦している IR 従事者が増えているのも事実です。本集会は日本の高等教育機関および研究機関における IR 従事者を中心に、大学教職員、研究者、関連する企業などの皆様を対象にした広く開かれた集会です。本集会のこの特性を活かして IR に関する様々な投稿を受け入れておりますので、IR において苦勞したことや問題点の共有、新しい知見の収集、人材交流など、様々な機会として本集会を活用していただけることを心から願っております。MJIR は、IR の深化をそれに従事する人々の技術向上のために、可能な限り工夫をしていきたいと考えています。

今回は各発表時間以外にも参加者同士の意見交換ができるようにセッションとセッションの間の時間を長めに確保するなど時間に余裕を持ったプログラムにしております。この機会に多くの方々が IR を通じて交流できることを期待しております。

最後になりますが、第 7 回大学情報・機関調査研究集会 (MJIR2018) は大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 (NII) のご協力により会場の提供をしていただき開催することができました。関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

平成 30 年 8 月 18 日  
大学情報・機関調査研究集会運営幹事会一同

## 平成 30 年度研究集会運営委員会

### 運営幹事

大石 哲也（東京工業大学）H30 年度集会主幹  
田尻 慎太郎（横浜商科大学）H30 年度集会副主幹  
杉原 亨（関東学院大学）  
杉森 公一（金沢大学）  
船守 美穂（国立情報学研究所）  
石井 雅章（神田外語大学）  
井芹 俊太郎（法政大学）  
白鳥 成彦（嘉悦大学）

### 事務局長

大石 哲也（東京工業大学）

ウェブ <http://mjir.info/>  
連絡先 [contact@mjir.info](mailto:contact@mjir.info)